

# Japan MICS Summit 2018 開催にあたって

このたび第3回日本低侵襲心臓手術学会定期学術集会「Japan MICS Summit 2018」の会長を拝命し、平成30年7月7日（土）にナレッジキャピタルコングレコンベンションセンター（グランフロント大阪）にて開催する運びとなりました。

平成27年までは、低侵襲心臓手術の発展を志す心臓血管外科医が参加する研究会として年に1回Japan MICS Summitを開催していましたが、平成28年より日本低侵襲心臓手術学会を立ち上げ、その定期学術集会としてJapan MICS Summitを開催することとなりました。

今回の学術集会のテーマは「MICSの質を検証する」とさせていただきます。低侵襲手術は急性期における患者の負担を軽減し、より早い社会復帰を目指す目的で現在かなりのスピードで普及しておりますが、外科手術にとって生命線である根治性を維持できなければ本末転倒の治療になってしまいます。Japan MICS summit 2018では、現在市民権を得たといえるMICSの遠隔成績、つまりは手術の質を検証するという原点に立ち返り、さらに飛躍して欲しいという意味でこのテーマにさせていただきます。その線に沿いながら、新しい知見、新しいデバイスの情報を盛り込んで、学術プログラムが意義あるものになるよう努めてまいります。

是非、多数の先生方のご参加を楽しみにしております。

第3回日本低侵襲心臓手術学会定期学術集会  
Japan MICS Summit 2018

会長 夜久 均  
(京都府立医科大学大学院医学研究科 心臓血管外科学)

## PROGRAM

### Opening Remarks

#### I . Symposium 1

8:30~10:30

##### MICSの質を検証する（遠隔成績）

座長 碓氷 章彦（名古屋大学大学院 心臓外科学）

澤 芳樹（大阪大学大学院 心臓血管外科）

夜久 均（京都府立医科大学大学院医学研究科 心臓血管外科学）

当院における右小開胸アプローチによる僧帽弁形成術の試み

—より高いQualityの僧帽弁形成術を目指して—

志水 秀行（慶應義塾大学医学部 外科（心臓血管））

手術用顕微鏡下、右小開胸アプローチによる僧帽弁形成術：安全性、形成達成率、そして、根治性

三浦 崇（長崎大学病院 心臓血管外科）

MICS-MVP

Mattia Glauber

(Istituto Cinico Sant Ambrogio - Gruppo Ospedaliero San Donato, Italy)

MICS僧帽弁形成術の有用性の検討—正中切開との比較—

吉川 泰司 (大阪大学医学部 心臓血管外科)

僧帽弁MICSと同時施行するMAZE手術の安全性と有効性の検討

伊藤 敏明 (名古屋第一赤十字病院 心臓血管外科)

MICS-CABGの中期成績の検討

坂口 太一 (心臓病センター榊原病院 心臓血管外科)

Minimally invasive robotic-assisted coronary artery bypass grafting with long term follow-up

Bob Kiaii (London Health Sciences Center, Canada)

## II. Coffee Break Seminar 10:40~11:10

座長 小宮 達彦 (倉敷中央病院 心臓血管外科)

柴田 利彦 (大阪市立大学大学院 心臓血管外科)

MICS for All The Young Dudes

Kuan-Ming Chiu (Far Eastern Memorial Hospital, Taiwan)

共催：株式会社バイタル

## III. Video Session 11:20~13:00

MICSエキスパートの工夫とテクニック

座長 下川 智樹 (帝京大学医学部 心臓血管外科)

田端 実 (東京ベイ・浦安市川医療センター 心臓血管外科)

宮本 伸二 (大分大学医学部附属病院 心臓血管外科)

右肋間小開胸から行うラジオ波クランプを用いた両側PV isolationとMICS AVR

都津川 敏範 (心臓病センター榊原病院 心臓血管外科)

Endo Scope/Exo scope併用のMICS-MPアプローチの工夫

江石 清行 (長崎大学病院 心臓血管外科)

Central cannulation

Mattia Glauber

(Istituto Cinico Sant Ambrogio - Gruppo Ospedaliero San Donato, Italy)

腋窩アプローチからの完全胸腔鏡下AVR

伊藤 敏明 (名古屋第一赤十字病院 心臓血管外科)

ロボット支援下僧帽弁形成術の導入にむけて

石川 紀彦 (ニューハート・ワタナベ国際病院 心臓血管外科)

弁形成率100%、死亡率0%を達成するための僧帽弁の視野展開とMICSストラテジー

山口 裕己 (昭和大学江東豊洲病院 心臓血管外科)

MICS僧帽弁手術：私の工夫

紙谷 寛之 (旭川医科大学 外科学講座 心臓大血管外科学分野)

多枝MICS CABGのピットフォール

吉田 成彦 (イムス東京葛飾総合病院 心臓血管外科)

Off pump MICS CABGにおける様々なtips

菊地 慶太 (一宮西病院 心臓血管外科)

小切開大血管手術

湊谷 謙司 (京都大学大学院 心臓血管外科学)

共催：アボットメディカルジャパン株式会社、エドワーズライフサイエンス株式会社、リヴァノヴァ株式会社

## IV. Luncheon Seminar

13:10~13:50

座長 志水 秀行 (慶應義塾大学医学部 外科(心臓血管))

手取屋 岳夫 (上尾中央総合病院 心臓血管センター)

Long-term Results of MICS MVP and AVR

Mattia Glauber

(Istituto Cinico Sant Ambrogio - Gruppo Ospedaliero San Donato, Italy)

共催：リヴァノヴァ株式会社

## V. Symposium 2

14:00~15:10

### MICSのpitfall、complication、合併症

座長 小林 順二郎 (国立循環器病研究センター 心臓血管外科)

高梨 秀一郎 (榊原記念病院 心臓血管外科)

竹村 博文 (金沢大学大学院 心臓血管外科)

Pitfalls in MICS Surgery

Bob Kiaii (London Health Sciences Center, Canada)

MICS手術における麻酔科の役割

荒井 章臣 (大阪警察病院 麻酔科)

チーム医療と合併症対策 ~共有と進化~

中島 康佑 (心臓病センター榊原病院 臨床工学科)

送血困難症例におけるbailout

岡本 一真 (明石医療センター 心臓血管外科)

MICSにおける適切な患者選択

西 宏之 (大阪警察病院 心臓血管外科)

経大腿静脈1本脱血の工夫とカニューレの進歩

開 正宏 (名古屋第一赤十字病院 臨床工学技術課)

MICSにおける大腿動脈送血の適応と合併症予防

中村 喜次 (千葉西総合病院 心臓血管外科)

## VI. 特別講演

15:20~15:50

座長 荒井 裕国 (東京医科歯科大学大学院 心臓血管外科)

State of Art of MICS Surgery

Bob Kiaii (London Health Sciences Center, Canada)

共催：日本メドトロニック株式会社

## VII. Afternoon Tea Seminar

16:00~16:40

### New horizon, New technique

座長 新田 隆 (日本医科大学 心臓血管外科)

非弁膜症性心房細動における胸腔鏡下左心耳閉鎖術：AtriClip PRO1使用経験とステープラー・ループ法201例の中期成績についての報告  
大塚 俊哉 (東京都立多摩総合医療センター 心臓血管外科)

胸腔鏡下左心耳閉鎖に対するAtriClip PRO1の使用経験

伊東 博史 (山口県済生会下関総合病院 心臓血管外科)

共催：センチュリーメディカル株式会社

## VIII. 一般演題（口演）

16:50～17:50

座長 浅井 徹（滋賀医科大学 心臓血管外科）

塩瀬 明（九州大学大学院 循環器外科）

横山 斉（福島県立医科大学 心臓血管外科学）

Prospective non randomized comparative study of right mini thoracotomy aortic valve replacement between suture less and sutured pericardial bio prosthesis in septuagenarian

Suchart Chaiyaroj

(Faculty of Medicine, Ramathibodi hospital, Mahidol University, Thailand)

ドライラボMICSシミュレータはどこまでウエットラボに迫れるか？

～イービーエム社製 MICSシミュレータを用いたMICS-MVPの効果を検証する～

阿部 恒平（聖路加国際病院 心血管センター 心臓血管外科）

当院における、2枝病変に対するロボット支援下低侵襲冠動脈2枝バイパス術の検討

川本 尚紀（国立循環器病研究センター 心臓血管外科）

TAX-AVR vs TAVI：手術成績の比較と手術適応の検討

所 正佳（名古屋第一赤十字病院 心臓血管外科）

安全性を重視した簡便な右開胸MICSプログラム

山口 敦司（自治医科大学附属さいたま医療センター 心臓血管外科）

## IX. 一般演題（ポスター）

9:00～17:00（閲覧のみ）

P-1 拡張型心筋症に合併した左室内血栓に対する右小開胸、経僧帽弁的血栓除去術

在國寺 健太（名古屋市立東部医療センター 心臓血管外科）

P-2 ストーンヘンジAVR術前のziostation2による3Dシミュレーションテクニックを用いたセットアップ方法

高木 秀暢（済生会宇都宮病院 心臓血管外科）

P-3 Endo MICS僧帽弁形成術中のLCX閉塞により正中切開にconversionした症例

高橋 洋介（大阪市立大学医学部 心臓血管外科）

P-4 Barlow's diseaseに対する完全内視鏡下僧帽弁形成術の1例

～僧帽弁輪4点支持による視野展開～

迫 秀則（社会医療法人敬和会大分岡病院 心臓血管外科）

P-5 MICSでのベイルアウト経験

米田 正始（医誠会病院 心臓血管外科）

P-6 完全鏡視下MICS過渡期における3D内視鏡の意義とplication法

竹村 博文（金沢大学 先進総合外科）

P-7 MICS MVPにおける胸郭扁平係数 北村 律（北里大学医学部 心臓血管外科）

P-8 AVRにおけるMinisternotomyとRight anterior minithoracotomyの検討

井上 大志（国立循環器病研究センター 心臓血管外科）

P-9 MICS手術における下肢虚血への対策

村上 博久（兵庫県立姫路循環器病センター 心臓血管外科）

P-10 低侵襲心臓手術症例における術後在院日数を規定する因子の検討

石川 凌馬（東京ベイ・浦安市川医療センター リハビリテーション科）

P-11 右小開胸大動脈弁置換術において視野展開に難渋した症例の検討

秦 広樹（大阪大学大学院医学系研究科 心臓血管外科）

P-12 低肺機能患者に対する胸腔鏡下僧帽弁形成手術における人工心肺離脱後の機械的呼吸補助戦略

加納 寛也（明石医療センター 臨床工学科）

- P-13 閉鎖回路でのMICS体外循環は可能か？  
安田 徹（自治医科大学附属さいたま医療センター 臨床工学部）
- P-14 部分胸骨切開で行うMICS-HeartMate II LVAD植込み手術  
戸田 宏一（大阪大学医学部 心臓血管外科）
- P-15 先天性心疾患に対する右側胸部小切開による低侵襲心臓手術  
川田 幸子（岡山大学病院医学部 心臓血管外科）
- P-16 肋間開胸MICSにおける傍脊椎ブロックによる術後創部痛抑制効果の検討  
渡邊 達也（川崎医科大学総合医療センター 総合外科）
- P-17 MICS-MVP、TAP術後に右房出血を来し正中開胸にて救命した一例  
吉野 邦彦（聖路加国際病院 心臓血管外科）
- P-18 MICS右小開胸僧帽弁形成術を施行中に右室または左室から出血を来した一例  
黒田 美穂（千葉西総合病院 心臓血管外科）
- P-19 安全なMICSに向けたSmart Glassによる術前・術中情報の共有の試み  
栴田 浩禎（大阪大学大学院医学系研究科 心臓血管外科）
- P-20 当院でのMICS AVRの初期成績、術式の変遷  
細羽 創宇（豊橋ハートセンター 心臓血管外科）
- P-21 大腿送血カニューレ先端形状の違いが送血側下肢灌流に与える影響に関する検討  
長嶋 耕平（東京ベイ・浦安市川医療センター 臨床工学室）
- P-22 MICSセットアップにおける画像シミュレーションの現状と課題  
内田 徹郎（山形大学 第二外科）
- P-23 MICS-AVRの早期・遠隔期成績 清水 篤（榊原記念病院 心臓血管外科）

## Closing Remarks

## 次回会長挨拶

荒井 裕国（東京医科医科大学大学院 心臓血管外科）

## X. Off the job training 18:00~20:00

### MICSドライラボ

- 講師 阿部 恒平（聖路加国際病院 心臓血管外科）  
岡本 一真（明石医療センター 心臓血管外科）  
北村 律（北里大学病院 心臓血管外科）  
田端 実（東京ベイ・浦安市川医療センター 心臓血管外科）  
中村 喜次（千葉西総合病院 心臓血管外科）  
西 宏之（大阪警察病院 心臓血管外科）  
三浦 崇（長崎大学病院 心臓血管外科）  
Mattia Glauber（Istituto Cinico Sant Ambrogio-Gruppo Ospedaliero San Donato, Italy）  
Bob Kiaii（London Health Sciences Center, Canada）

共催：イービーエム株式会社、エム・シー・メディカル株式会社、ゲティンゲグループ・ジャパン株式会社、リヴァノヴァ株式会社